

# 保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

9/10

## アカデミック英語 No.7

# 英語で問題提起する — The issue of…・One challenge is…・A key concern の使い方

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。英語記述で「There is a problem.」という漠然とした問題提起しかできない答案と、The issue of…・One challenge is…・A key concern isを使って明確に問題を提起した答案の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきました。

### 1. この講座が有効な入試問題のタイプ

#### ① 英語で問題提起する記述問題

東京大学・慶應義塾大学医学部の英語では、「医療・社会問題について英語で論じよ」という問題が出題される。The issue of～・One challenge is～・A key concern is～という問題提起の表現を使える受験生は、採点者（大学教員）に「アカデミックな論述力がある」と評価される。

#### ② 医療課題を英語で提起する問題

「日本の医療が抱える最大の問題を英語で述べよ」という問いは、医学部推薦入試で出題される。問題提起の表現を使って明確に課題を提示できる受験生は、「問題があります」という漠然とした表現との差が明確になる。

#### ③ 英語面接・口頭試問での課題提起

「What do you think is the biggest challenge in healthcare?」という問いは、英語面接で定番である。The key challenge is～という一文で明確に提起できる受験生は試験官（大学教員）に際立つ。

### 2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学・慶應義塾大学 医学部	英語で医療・社会問題を論じる問題	問題提起の表現が採点者に「論述力がある」と示す
東京科学大学・順天堂大学 医学部	英語で課題を提起する記述問題	The issue of～が漠然とした表現との差を生む
昭和大学・東邦大学 医学部	英語意見論述・問題提起問題	One challenge is～の使い方が採点者（大学教員）に際立つ
医学部推薦・総合型選抜（全般）	英語面接での課題提起	A key concern isで即答できる受験生として際立つ

### 3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

英語で問題提起するとき「There is a problem.」という漠然とした表現しか使えない受験生は、採点者が求める「アカデミックな論述力」を示せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）The issue of～・One challenge is～・A key concern isを使って明確に問題提起できる、（2）英語論述で問題→原因→解決策の流れを作れる、（3）英語面接で課題を明確に一文で提起できる、という変化が起きる。

何十年も英語の答案を採点してきた清光学院の講師陣は、英語論述問題で「漠然とした問題提起の答案」と「明確な表現で問題提起した答案」の評価の差を採点者として知っている。